

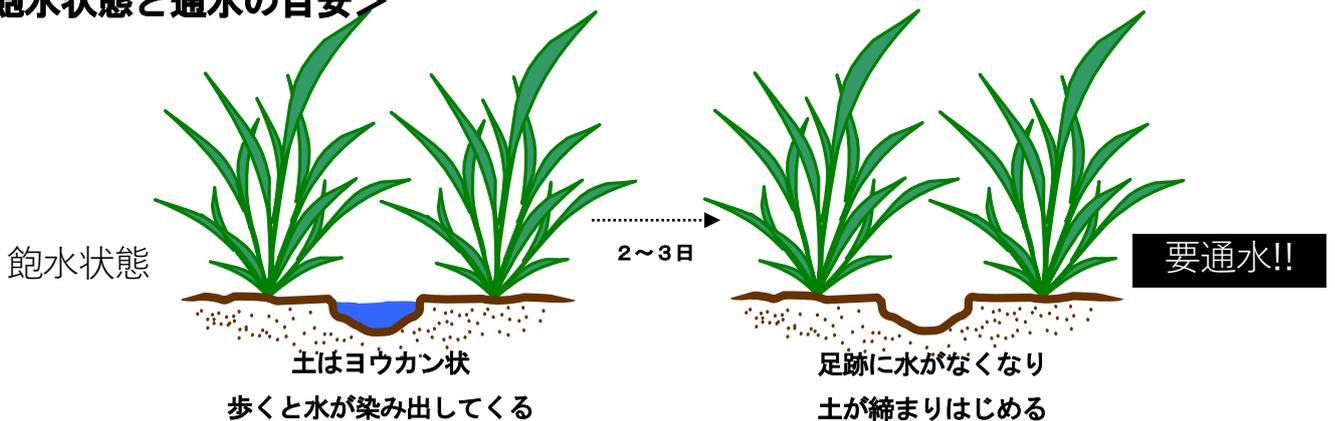
能登産米の収量確保・品質向上

緊急情報

田んぼに水を入れましょう!!

気象庁によると、8月以降「かなり高い気温」となることが予想されています。登熟期間に高温が続くと、白未熟粒や胴割粒の発生が多くなります。被害を回避するため、**飽水管理により、地温の上昇を抑え、根の活力維持**に努めましょう。

<飽水状態と通水の目安>



● 2～3日おきの間断通水による**飽水管理を徹底**してください。

- 長期湛水は水温上昇等で根が傷むため、行わないでください。
※フェーンが予想されるときは一時的に湛水し、強制乾燥による被害に備えてください。なお、その後は速やかに排水し、飽水管理に戻してください。

● 用水が不足する地域では、**集落や地域単位**で計画的な水利用に努めましょう。

● 可能であれば夜間に通水し稲体を冷やしましょう。

収穫5日前まで（出来る限り直前まで）実施し、早期に落水しないようにしましょう!!